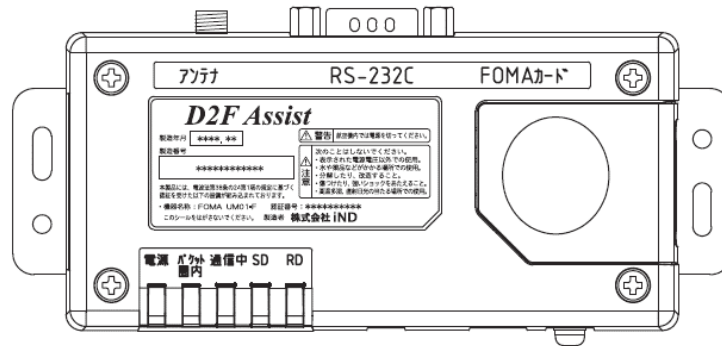


まいぐれ

プロコン自動接続編



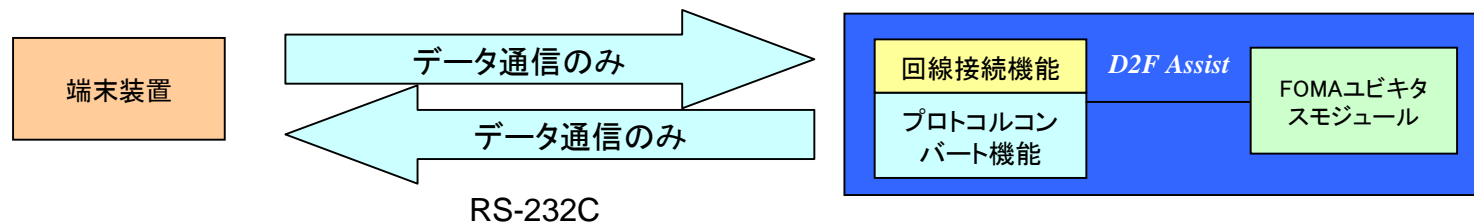
株式会社 iND

プロコン自動接続とは

D2F Assist のプロコン自動接続モードは端末装置に回線、PPP、TCPもしくはUDPを意識させない形、RS-232側はデータ送受信のみの通信により、センタと通信します。

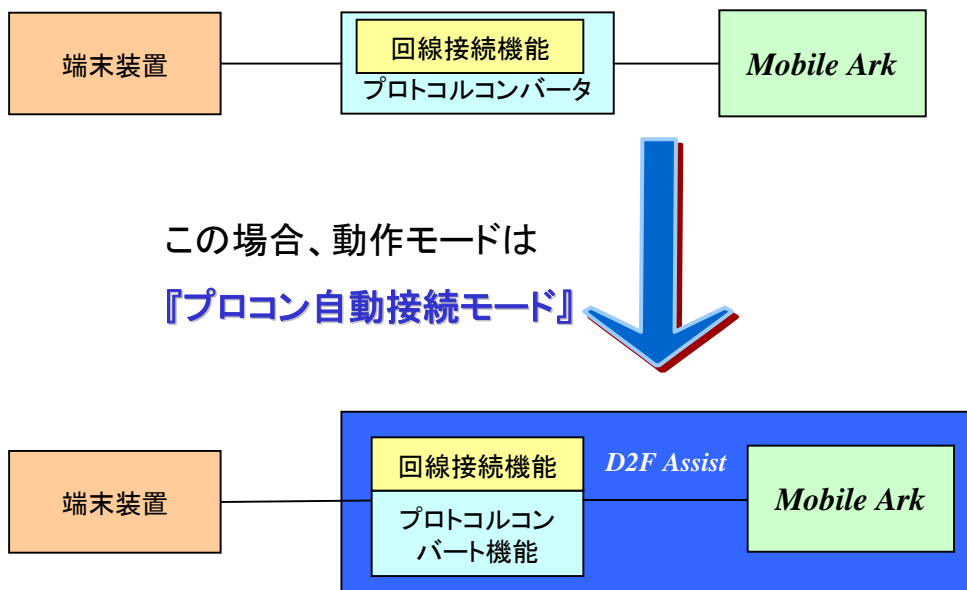
つまり、*D2F Assist* が回線接続、PPP認証、TCPやUDPのプロトコルを駆使してセンタネットワークに接続し、データの送受信を行います。

そのため、DoPaからFOMAへのマイグレーションに限らず、新規案件でもご利用いただけます。



プロコン自動接続マイグレーション

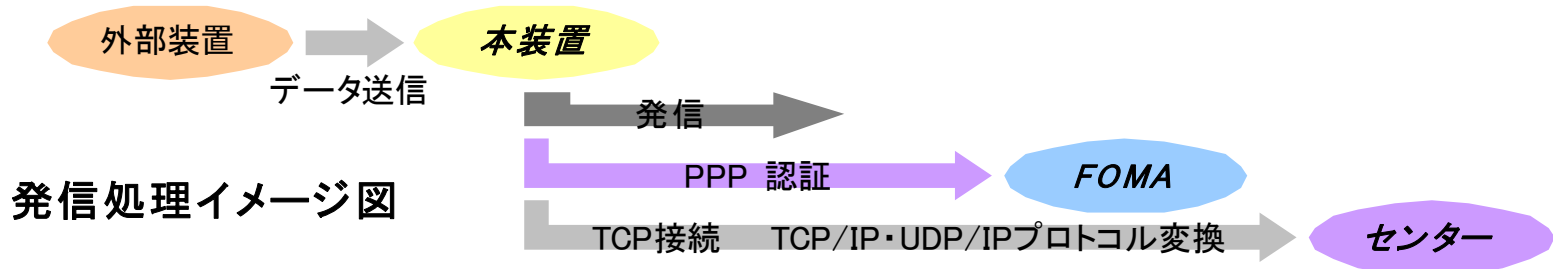
端末装置がデータ通信のみで、プロコンコンバータが回線接続及びプロコンコンバート機能を有する機器。



プロコンコンバータの機能によっては『**プロコン自動接続モード**』に移行できない可能性もありますのでご注意ください。
弊社製品のHDT-RS3A+Arkからの移行の場合、**P124F5電源制御ボックス**を間に入れることで安全に移行できます。

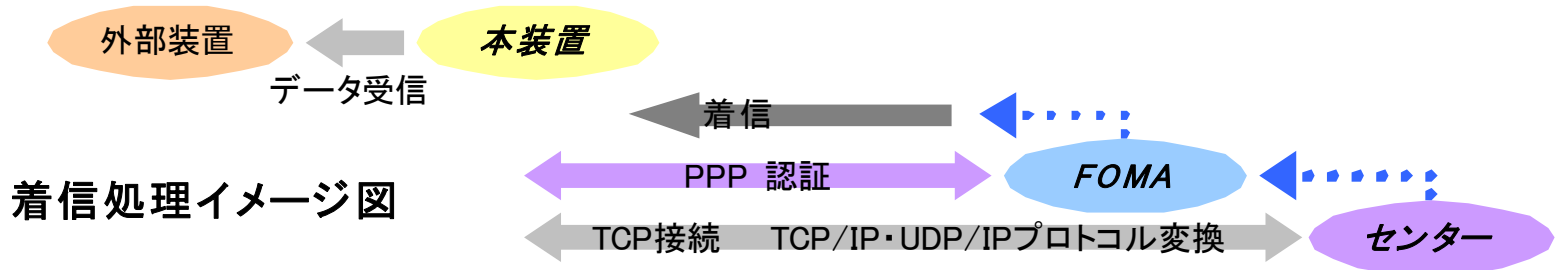
発信処理

外部装置からのデータ受信によって、本装置が自動的にFOMA網への発信・PPP認証を行います。
UDPプロトコル使用時は発信からPPPリンク確立まで、TCPプロトコル使用時は、発信からTCP接続まで自動的に行います。
通信経路確立後 (UDP/IP:PPPリンク確立後・TCP/IP:TCPセッション確立後)、受信したデータをセンタに送信します。その後、センタ～外部装置間で双方向通信ができます。



着信処理

FOMA網からの着信要求に対し、自動的に着信処理・PPP認証を行います。
UDPプロトコル使用時は着信からPPPリンク確立まで、TCPプロトコル使用時は、着信からTCP接続までを自動的に行います。
通信経路確立後は (UDP/IP: PPPリンク確立後・TCP/IP: TCPセッション確立後)、センタ～外部装置間で双方向通信ができます。



初期設定①

D2F Assist 設定ユーティリティ Version 2.28

全般
回線接続
オプション
コマンド・メッセージ

回線接続

APN 1 | APN 2 | APN 3 | APN 4 | APN 5 | APN 6 | APN 7 | APN 8 | APN 9 | APN 10

APN(A): moperanet

TEL番号(E):

PPP認証ユーザ名(U): test

PPP認証パスワード(P): ****

PPP認証方式(H): CHAP/PAP

ダイヤル方式(D): Dial-Out/Dial-In

プロトコル(C): UDP Protocol

自局IPアドレス(M): 0 . 0 . 0 . 0 ポート(Q): 1111

宛先IPアドレス(R): 10 . 14 . 10 . 122 ポート(T): 1111

自動接続APN番号(N): 1

ファイル読み込み(Q)... ファイル保存(S)... 設定値受信(R) 設定値送信(T) 閉じる

初期設定ツールにより必要最低限の簡易設定が簡単にできます。

FOMAのAPN設定

電話番号は必要ありません。

PPP認証に関する設定を行います

ダイヤル方式です

プロトコルの設定です

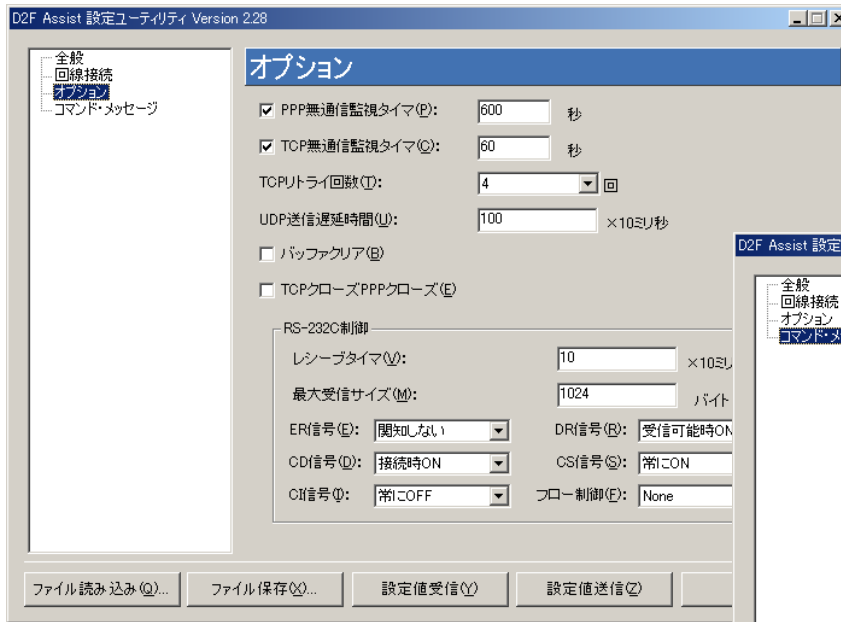
自局と宛先のIPアドレス及びポート番号です。

自動接続にて使用するAPN番号を指定します。

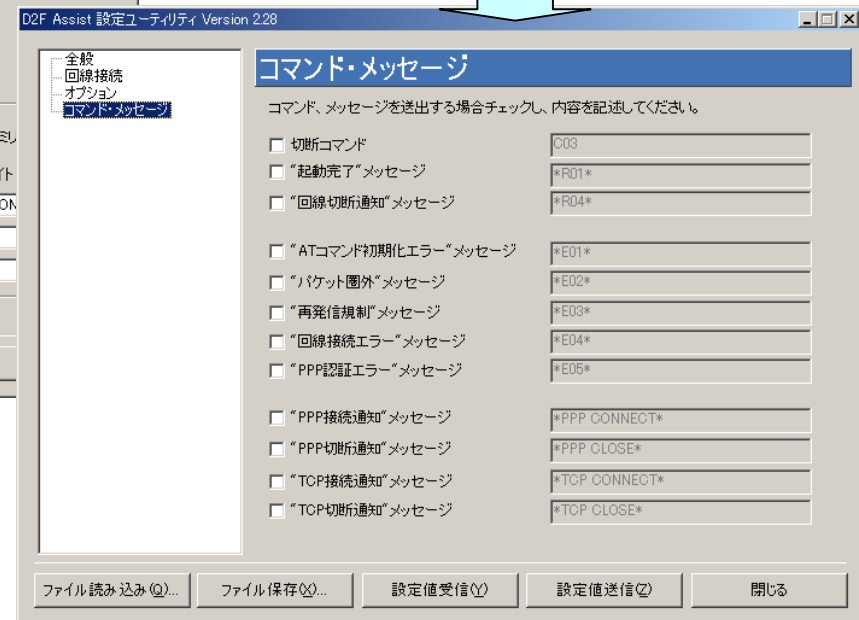
すべての設定が終わると『設定送信』をクリックすることで設定値が転送されます。

※初期設定モードにてターミナルソフトで設定することもできます。

初期設定②



左のメニューのコマンド・メッセージを選択すると、メッセージの設定ができます。



左のメニューのオプションを選択すると、各回線共通の設定メニューが表示されます。

お問合せ先



〒103-0016

東京都中央区日本橋小網町3番18号(カネトモ第二ビル)

TEL:(03)3664-5552 FAX:(03)3664-5553

URL: <http://www.i-netd.co.jp>

Mail: <mailto:info@i-netd.co.jp>

営業部まで